

「フィリピン市民の記憶の中の "アジア・太平洋戦争"」

日時：10月8日(土)17:00～

会場：和泉キャンパス M306教室(3階)

講師：神直子氏(ブリッジ・フォー・ピース代表理事)



〔講師プロフィール〕

1978年生まれ。2000年にフィリピンを訪問した際(雨宮剛現青山学院大学名誉教授の主宰するスタディツアーに参加)、未だ戦争の傷が癒されないたくさんの人々と出会い「戦争はまだ終わっていない」と実感。一般企業人事企画本部勤務後、NPOに転職。2004年にブリッジ・フォー・ピースを立ち上げ、現在、代表理事を務める。共著に『私たちが戦後の責任を受けとめる30の視点』(合同出版)、『未来の入会(いりあい) コミュニティ・コモン―市民がつくる地域力拠点 街を元気にする事例』(NPOメディアネットワーク)。

コーディネーターより

アジア・太平洋戦争が終結して、65年以上の長い年月が流れています。フィリピンの市民の中に「あの戦争」がどのように記憶されているのでしょうか。フィリピンの市民の「生の声」を丹念に拾い集め、東南アジアと日本の間の戦争の記憶や認識問題について実践的な活動を行っている神直子さんをお招きし、実際のフィリピンの人々の記憶や証言の映像とともに、「アジア太平洋戦争」について考える機会にしたいと考えています。

(鳥居 高 商学部教授)

予約不要：学部生の受講可

学外の方も受講可能です。

事前にお電話ください。

教養デザイン研究科:TEL:03-5300-1544